

材木屋とエコ 環境 省エネ(第77回)

寒波と豪雪

(株)コバリン 奥澤 康文

今年の冬は各地で例年のない寒さや雪害が発生した。毎早朝、気象庁のデータから最低気温を手帳にメモし比較すると平年より数℃低い。福井県内では豪雪の影響で道路が寸断され大きな影響が出た。又、肘折(山形県北部)では、積雪約4.5mを記録する等、日本海側各地で厳しい状況が続いている。

観測地点	1月24日(水)	1月25日(木)	1月26日(金)	1月27日(土)
さいたま市	-8.6℃	-6.3℃	-9.8℃	-4.3℃
久喜市	-8.2℃	-9.2℃	-8.7℃	-4.6℃
所沢市	-3.4℃	-6.4℃	-6.0℃	-4.8℃
鳩山町	-8.8℃	-9.7℃	-10.0℃	-7.8℃
佐倉市	-3.2℃	-3.6℃	-5.9℃	-3.7℃
東京(都心)	-1.8℃	-4.0℃	-3.1℃	-1.8℃
青梅市	-4.8℃	-8.7℃	-8.6℃	-9.3℃
八王子市	-4.2℃	-8.0℃	-7.8℃	-8.7℃
府中市	-5.4℃	-8.4℃	-7.1℃	-7.8℃
練馬	-3.6℃	-7.0℃	-6.1℃	-2.8℃

【初雪と仙台出張】 1月23日(火)低気圧が太平洋側を通過した為、初雪となった。夕方から降り出した雪が深夜まで続いた。仙台への出張と重なり心配したが、幸い始発の新幹線は平常通り快適に進行。白く雪化粧した山野ときれいな青空のコントラストに感動魅了され、8時過ぎに仙台駅に到着した。



JR大宮駅東口前。午前6時半頃。積雪が約30cmの大雪。通勤・通学の人や車の動きで、雪解けが加速。



JR南仙台駅前。午前8時半頃。積雪は約40cm。大宮よりやや寒く、積雪も多い。



当社の仙台営業所付近の降雪。車の屋根に、40cm以上積もっている。車を出すのが大変。



民家の庭木に積もる雪に枝が折れそう。紺碧の空と樹木の緑と雪とのコントラストが素晴らしい。

【中学校卒業50年、驚きのクラス会】 1月27日(土)郷里の群馬で非常に懐かしい出逢いがあった。初参加の私は、暫くは誰が誰だか全く見分けがつかず、特に、女子は変貌が大きく未だに名前と顔が一致しない。中学を昭和42年卒、田舎の事で小学校、中学校の計9年間は2クラスの同じメンバー。当時1学年約90人中で、約3割参加。何はともあれ、健康、子供や孫、年金等の話題で約2時間があったという間に過ぎた。村内に駅の無い様な寒村(不便で貧しい村)だが、大学教授や社長になった友人もいて、50年の歳月を懐かしんだ。又、女性も現役で活躍中の人も多く、大いに元気づけられ嬉しく、私も頑張ろうと思いました。小児マヒ(ポリオ)の重いハンデをもつ、代表幹事のK君の姿が一際光っていた。彼の人柄に感謝です。

昼食後、全員で2次会(カラオケ)へ。小学校当時の私は、クラスでは歌上手で通っていたが、今では社長になった友人たちに追い抜かれ、がっかり。しかし、途中から皆が童心に戻り、午後5時迄、懐メロ紅白歌合戦となり、今回は白組の勝ちで終了。3年後の元気な再会を祈念した。



昼の大広間に、椅子、テーブルで会食。禁煙を徹底。長い間に田舎の習慣も昔とは随分と変わったと認識。



ところで、2月11日(日)葛飾区柴又へ行ったので、その体験談は次号でご紹介いたします。

帰宅後、ぼーっとした浦島太郎がテレビをつけた所、偶然、「スマートハウス稲毛」を特集していた。そこは、健常者向けの高級大型施設で、余生を楽しむ恵まれたシニアの姿に、自分の将来に現実を突き付けられ、否が応でも自分の老後のあり方を考えさせられた。

【新潟出張】 2月14日(水)。昨日までの寒気は和らぎ、きれいな青空が覗いていた。新潟市の郊外(旧豊栄市)へ出張。新幹線に遅れはなかったが、ローカル線には、運転中止や遅れがでていた。平年の倍以上の積雪に、地元の人の生活や業務に大きな影響がでていた。



駅のホームに雪が高く積み上げられていた。駅員さんが早朝に雪かきしているが、毎日なので大変です。



JR豊栄駅前。時折、屋根から雪が落ちてくる。ドシンとした音に驚く。気を付けないと危ない。



駅前の食堂で昼食。昔懐かしい中華そばと半チャーハン。素朴な家庭の味に加え、ボリューム満点で合格点。



JR長岡駅付近。夕方の新幹線の窓から越後山脈を望む。屋根には積雪50cm以上。

県境の長いトンネルを抜けると、群馬・埼玉は雪もなく、静かな夕闇が迫っていた。我々は恵まれている。雪国の生活は我々が想像する以上に大変で、雪かきする高齢のシニアを見かける度に痛々しく感じた。

2018年2月15日(木)記